

「第1回 日向土木管内大規模氾濫等減災協議会」開催

平成27年9月関東・東北豪雨や、平成28年8月台風10号等により大規模な浸水被害が発生したことを踏まえ、市町村、気象庁、県等が連携・協力し、減災のための目標を共有し、ハード対策とソフト対策を一体的、計画的な推進により、社会全体で常に洪水に備える「水防災意識社会」を再構築することを目的として協議会を設置しました。

今回の協議会では、協議会の立ち上げ、タイムライン、ホットラインの確認を行いました。

開催概要

- 日時：平成29年5月30日（火）
- 会場：日向土木事務所 第1会議室

議事内容

- ・協議会名称及び規約（案）の提案及び承認
- ・タイムラインについて
- ・首長と土木事務所長間のホットライン構築について

委員の方の主な発言

- ・ホットラインが来るときは本当に危険な状況の時に来るのか？
 - ⇒通報水位になったからと言って全て通報するわけではありません。今までの経験で本当に危険な状況の時に連絡します。
 - ⇒ホットラインは一方通行の連絡ではありません。相互通報として取り組んでいきたい。状況がわからないとか状況が聞きたいときはいつでも活用してほしい。

協議会の出席者

機関名	所属等	氏名
日向市	市長	十屋 幸平
門川町	町長	安田 修
諸塚村	村長	西川 健
椎葉村	村長	椎葉 晃充
美郷町	町長	尾畑 英幸
気象庁 宮崎地方気象台	台長	小泉 岳司
宮崎県 総務部	危機管理局长兼危機管理課長	藪田 亨
	河川課長	高橋 秀人
	砂防課長	米倉 昭充
日向土木事務所	所長	養方 公

